

ベナン共和国 アボメ・カラヴィ郡 アイチェジ行政区  
アボメ・カラヴィ第4公立中等学校  
開校式

(2025年5月8日)

アボメ・カラヴィ第4中等学校の生徒たちは、開校式が待ち遠しくてたまらなかったようです。開校式に先立ち、彼らは学校の周囲を掃除し、校舎周りの花壇に花を植えました。植えた花には毎日水やりをしなければなりません。教室を拭き掃除したあと、生徒たちはディートマー・ガンズ氏とロスウィタ夫人から寄贈された机と椅子を新しい教室を運び込みました。アイチェジ地区の大工とその弟子たちが、これらの机を研磨し、ニス塗りを施しました。生徒たちは開校式に向けて歌と踊りの練習をしました。こうした活動で、4月はあっという間に過ぎていきました。

5月8日、その時が来ました。





GRUPE DE PRESSE MESSEGER BENIN

いつもどおり、スピーチが行われました。



GRUPE DE PRESSE MESSEGER BENIN

学生代表は関係者全員に感謝の意を表しました。



校長と県知事代理、



近隣のアイファ地区長と市長代理

西アフリカ教育普及協会（Bildungswerk Westafrika e.V.）と連帯の活動（Actions de Solidarité）の 2 団体の尽力が称賛されました。建物にロゴが掲げられているパートナー団体、ドイツ連邦経済協力開発省、そしてドイツ国民とベルグハイムのエアフトギムナジウムに対し、感謝の意が表されました。

その後、新しい教室の鍵が生徒代表に手渡され、代表はそれを上の者に引き渡しました。



鍵を手にした市長代理と来賓一同および生徒たちは建物へと向かいました。テープカットの後、新しい教室が開かれ、視察が行われました。



GRUPE DE PRESSE MESSEAGER BENIN



GRUPE DE PRESSE MESSEAGER BENIN



その後は楽団「Vie et Culture」の音楽に合わせて踊りました。



お祝いが終わり、来賓が帰った後、生徒たちは校長の許可を待たずに教室を占拠していました。校長が尋ねると生徒たちは、當田夫人から鍵をもらったのは私たちだと答えました。こんなに美しい教室がすぐ目の前にあるのに、屋根だけの小屋で勉強するなんて、もう1分たりとも気が進みませんでした。



このプロジェクトにご参加いただいたすべての友人と支援者の皆様に感謝申し上げます。この文章では学生たちの喜びがどれだけ大きいかをお伝えできないのが残念です。

新年度に向けて生徒数が劇的に増加することは既に明らかです。この学校のさらなる拡張、つまり教室の増設に備えておくべきでしょう。

心からの感謝を  
當田アストリット